# 

初島レース総合優勝の〈慎記郎〉 撮影:西村一広/提供:舵社

## 〈オケラ〉との遭遇

## 植村直己

2月21日, 私は1年ぶりに迎えに来たアルゼンチン 海軍の砕氷船で, ブエノスアイレスへ向けて, 1年間 越冬したサンマルティン基地をたった。

越冬中から多田さんやオケラグループの平林,小谷,野元さん方々とはアマ無線交信をしていて,沈みがちな私の心をいやしてくれていたのだった。特に印象的であったことは、目標であった犬橇とビンソンマシフ峯の登山中止で,基地から一歩も出られないとき,レース中の多田さんと交信すると「気になさるな,今度は俺がこの〈オケラ号〉でビンソンマシフ峯の一番近くの南極海岸まで入り、ビンソンに登ってくればよい。俺の世界一周レースが終わったら、日本でゆっくりと二人で南極プランを立てて,何とか成功させようや」と,意気消沈している私を慰めてくれるのだった。

多田さんは、私が北極点、グリーンランドを犬橇で 縦断したとき、無線、天測の技術をおそわったり、現 地の連絡員としてサポートしてくれたものであった。 今回の南極行きにも無線や天測、橇に至るまで、装備 の準備をやってくれた私の協力者の一人であった。日 本ばかりでなく、南極に来てまでも助けてもらってい ると思ったものである。

南極の氷山がたくさん浮く海岸に、ヨットが入れるかどうかわからない中にも、この多田さんとの交信はとてもうれしいものだった。基地を去ってから砕氷船上で毎日交信は続いた。2月26日、我々の乗った砕氷船がドレーク海峡を抜けるころ、時を同じくして多田さんの〈オケラ号〉は既に太平洋から魔の海峡といわれている荒波のドレーク海峡を難なく突破したところだった。

南極基地にいるときは、極地特有の磁気あらしなどで交信も直接できず、世界各地に散らばったオケラグループの無線仲間の中継での会話であったが、南極圏から遠ざかるに従い、交信もダイレクトにできるようになった。

26日夜の定時交信のとき、進路が同じであるヨットと砕氷船は、ひょっとすると出合うかも知れないので、多田さんと私は、翌日の早朝から甲板でお互いに見張っていましょうと話し合っていた。多田さんは、どうも会えるような気がすると言って、交信ができてもできなくても翌朝の6時から無線で位置を一方的に報

告するといってくれていたのだった。多田さんと会えたらな……と思いつつ、まさか、この大海で会えるはずが……という気持ちで、27日の朝、眠い目で6時から、甲板に出たり、操縦室に上ったりして海洋を見張っていた。見わたせるものは曇天の中に、ところどころ薄日がもれたり、大きくうねる荒波だけで、全く何も見えず、6時より位置を知らせてくれるという通信は、残念ながら海軍の船にて日中の使用を禁じられて、多田さんの船位はつかめず、いくら甲板で海原を見ても、雲をつかむようなものであった。

時間は過ぎるばかりで、私は会えるチャンスをほとんどあきらめかけていた。ところが、5 時間ばかりたった午前11時ごろ、突然、我々の進む先方に氷山にもみたない小さな物体をレーダーが捕らえた。知らせを受けたとき、私は「 $\langle オケラ号 \rangle$  にまちがいない」と思った。

胸をドキドキさせて、双眼鏡で多田さんのヨットを捜した。30分後、先方わずか左手に荒波にもまれている船体が波の間に見えかくれしていた。「多田さんのヨットに間違いなかった」。私はそばに近づいて声をかけたかったので、船長に「あのヨットに近づいてくれ」と頼み込んだが、船長は双眼鏡をのぞきながら「イン・ポッシブル」(不可能)ととりあってくれなかった。私の最も親しい友人なので是非と頼んだものの、断固として聞き入れてもらえなかった。

ちょうどこの場所がフォークランドの真東の公海のぎりぎりの線上であり、一年前イギリスとの間にフォークランド戦争の起きた地点でもあったりしたので、フォークランドに駐屯しているイギリス軍に監視されている中では停船や船位の疑わしき行動は許されないようだった。砕氷船は速度をおとすこともなく、2キロ手前まで接近したものの、アッという間に追い越してしまった。

追い越すとき、船長は私にインターナショナルの無線の使用を許してくれ、私は多田さんのゆれる帆を見ながら、「JA1F0A、多田さん JA1F0A、多田さん」と呼んだものの返答はなかった。多田さんのヨットに近づくことができたら、アルゼンチンの美味しい牛肉でも食べてもらおうと思っていたが、むなしかった。元気に航海する多田さんをこの目で確かめ、声援を送

りたかったが、残念だった。

その日の夜の定時交信で、多田さんと話したところでは、多田さんも私の砕氷船を見つけ、甲板の上に出て、船が近寄って来てくれるのかと待っていたようであった。期待に胸おどらせたわりにはあっけない巡り合いであって残念だが、うれしくもあった。

私達の乗った砕氷船は3月1日、無事アルゼンチン

の主都, ブエノスアイレスの港に到着。多田さんは3月13日, 最終寄港地のリオデジャネイロに総合4位, 種目別では1位で堂々と入港。リオデジャネイロからゴールのニューポートまでの最後のレースを何んとかこの調子で乗り切り,無欲の勝利を得て欲しいものだ。私のできなかったぶんまで頑張って欲しい。そして一日も早い日本での再会を楽しみにしている。

## 海の国際ルール

## 国際海上衝突予防規則の改正

昭和58年6月1日から発効 海上保安庁

最近の小型船舶の増加等海上交通事情の変化等に対処するため、海の国際ルールである「1972年国際海上衝突規則」が改正され、昭和58年6月1日から発効することになりました。この改正規則は、我が国を含め、世界のほとんどの海運国で同日から適用されることとなります。

主な改正点は次のとおりですので、十分に理解して 海上交通の安全を図って下さい。

- 1. 国際海事機関の採択した分離通航方式に係る航法 (日本には国際海事機関の採択した分離通航方式は設 定されていません。)
- (1) 長さ20メートル未満の動力船および帆船は、いつでも沿岸航帯を航行することができることになります。
- (2) 分離通航帯において航行の安全を確保するための作業または海底電線の敷設、保守若しくは引揚げのための作業に従事している操縦性能制限船は、その作業を行うために必要な限度において分離通航方式に係る航法規定の適用が免除されることになります。

#### 2. 灯火および形象物

- (1) いかだ,いけす等えい航されている物件(船舶)で,その相当部分が水没しているため視認が困難なものは,表示すべき灯火・形象物が変更されます。
- (2) 長さ12メートル未満の動力船は、げん灯1対(または両色灯)と、白色全周灯1個を表示すればよいことになります。
- (3) えい航船が表示すべき追加のマスト灯は、後部のマストに掲げてもよいことになります。
- (4) 長さ20メートル未満の帆船は、三色灯を表示すればよいことになります。
- (5) 長さ12メートル未満の運転不自由船と操縦性能制

- 限船は、灯火・形象物を表示しなくてもよいことになります。(ただし、港内または東京湾、伊勢湾および瀬戸内海だは表示しなければなりません。)
- (6) 被えい航船舶(物件)が、表示すべき灯火・形象物を表示できない場合は、その存在を示すために必要な措置を講ずればよいことになります。
- (7) 通常はえい航作業に従事していない船舶が、要救助船舶をえい航する場合に、えい航していることを示す灯火・形象物を表示することができないときは、えい航していることを示すため、えい航索の照明等の措置を講ずればよいことになります。
- (8) びょう泊して掃海作業に従事している船舶の,表示する灯火・形象物が変更されます。また,その灯火・形象物の示す危険水域の範囲が,船舶の周囲1,000メートルに改められます。
- (9) 長さ12メートル未満の乗り揚げている船舶は、白 色全周灯1個を表示すればよいこととなり、形象物は 表示しなくてもよいことになります。
- (ii) 潜水夫による作業に従事している船舶は、その大きさのため定められた灯火・形象物を表示することができない場合は、灯火については、紅色・白色・紅色の3連の全周灯、形象物については、国際信号書「A旗」を表す信号板を一定の位置に表示しなければなりません。

#### 3. 音響信号および発光信号

- (1) びょう泊中の漁ろうに従事している船舶および操 縦性能制限船が、視界制限状態に行う音響信号が、長 音、短音、短音の汽笛信号になります。
- (2) 他の船舶の注意を喚起するための灯火として、ストロボのように点滅し、または回転する強力な灯火は使用できないことになります。

## '83安全フェスティバル・ 親善レースご案内

主 催 日本外洋帆走協会 安全フェスティバ ル実行委員会

スタート 6月5日 0900

タイムリミット:1200

コース 小網代沖~江ノ島

資格 セーリングクルーザー

参加料無料(本部艇へ,セールナンバー,艇名,

全長を伝える。N旗を掲げる)

順位決定 クラス別着順

クラス分 A 11m以上

(全長) B 9.5~10.99 m

C 8.0~9.49 m

D 6.5~7.99 m

E 6.5m以下

注意事項 ・スタート信号

10分前…クラブ旗

5 分前··· P 旌

スタート…両旗を降下、フォグホーン

リコールは行いません

●なお、タイムリミットに間に合わない艇は、フェスティバル開始1230に間に合うよう努力して下さい。

フェスティバルプログラム

0900~1200 親善レース

1230 安全フェスティバル

(江ノ島ヨットハーバー)

1230 ライフラフト投下実演(東洋ゴム)

実演・説明,約30分

1300 パラシュートフレアー類 打ち上げ実演

(興亜化工,国際化工)

説明・実演(参加者持参+業者より)

約30分

1330 救急法, 救助法, 人工呼吸など実演

約30分

(上原ドクター、日赤レスキュー隊員)

1400 前期レース表賞式(初島、小笠原、初島、

大島

## プレジャーボート等小形船舶に関する

## 標準化の調査報告について

### 財団法人 日本船舶標準協会

#### 1. まえがき

近年、国民生活の向上や余暇時間の増加に伴って、モーターボート、ヨット等に対する国民の関心が高まりつつあり、一方、世界的にも同様な傾向にあるところから、ISO/TC8/SC14 (造船および海洋構造物専門委員会/ヨット分科委員会)では、モーターボート、ヨット等に関する国際規格の作成が活発に行われるようになってきた。

このような背景をもとに、国内の関連メーカーや ユーザーの間で、標準化の必要性が認識されるように なり、モーターボート、ヨット等小型船舶に関する標 準化推進のための調査事業を本会で実施することになったので、ここにその内容の概略を紹介する。

#### 2. 我が国の舟艇産業の経過

モーターボート、ヨット等を中心にみた我が国の舟 艇産業は、産業として体制が整ったのは昭和38年以降 であり、当時年間生産隻数は、1、500隻程度であったが、 所得水準の向上や週休2日制の普及などに伴って、余 暇行動に関心が持たれるようになり、海洋レクリエー ションとしてのボーディングも次第に普及発展に向か い、昭和48年には年間生産隻数24、000隻に達し、舟艇 産業もようやく近代産業としての形態を整えるに至っ to

しかしながら、昭和48年秋の石油危機に端を発した 経済環境の変化から、激しいスタグフレーション抑制 策も加わり、舟艇産業界も他産業にもまして手痛い打 撃をうけたが、昭和52年以降わずかではあるが、回復 の兆しをみせ現在に至った。

この中で舟艇用船外機の生産は、ボート、ヨットと同じように石油ショックにより一時伸展を鈍らせたが、その需要は順調に伸長を示している。出荷は全出庫数のうち、輸出製品が70~80%を占めているが、今後も大きく発展が期待されている。

なお、我が国のモーターボート、ヨット等の生産隻数、船外機の生産台数、輸出台数等を付図1および2に、国別の年間生産隻数および保有隻数を付図3および4に示した。

#### 3. 事業計画

本事業は、昭和56年度および昭和57年度の2か年計画で実施する。

#### (1) 計画の内容

昭和56年度:モーターボート,ヨット等に使用されているぎ装品の概要(種類・型式等)およ

び関連する規格,基準等に関する国内資料の収集および使用実態調査を行う。

昭和57年度:遊漁船,小形業務艇等小形船舶のぎ装品等に関する国内資料の収集および調査を行い,昭和55年度に実施したモーターボート,ヨット等の調査結果と合わせて,小形船舶のぎ装品等に関する標準化の方針および計画を作成する。

#### (2) 実施の方法

財日本船舶標準協会に,標準委員会/プレジャーボート等小形船委員会を設けて実施する。

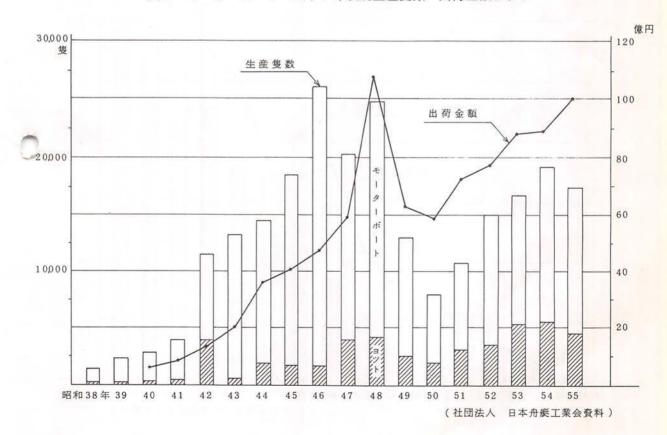
#### 4. 事業の実施内容

#### 4.1 委員会

#### 4.1.1 委員会設立までの経緯

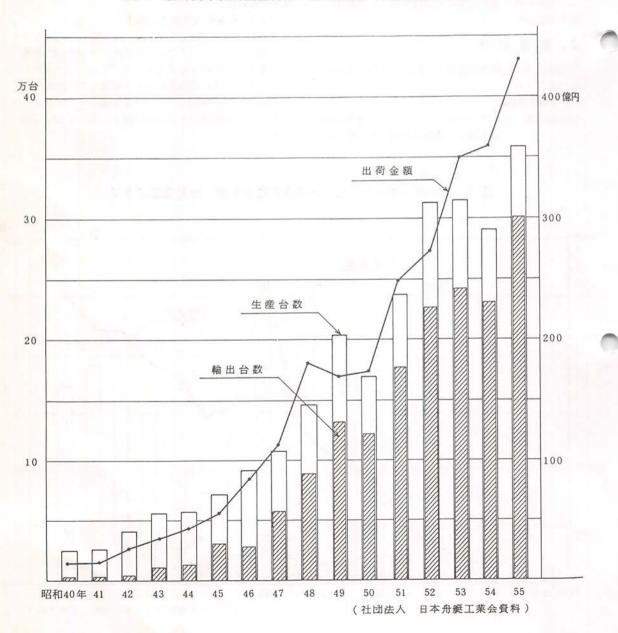
本事業を実施するにあたり、モーターボート、ヨット等に関係の深い、ユーザー代表、メーカー代表等が集まり、昭和56年7月9日に「プレジャーボート等小形船標準化準備委員会」を開催して、標準化の進め方、委員構成などについて協議し、この結果に基づいて昭和56年9月10日に第1回委員会を開催した。

#### 図1 モーターボート・ヨット年次別生産隻数・出荷金額グラフ



Service and the service of the servi	01131	OKL		
4.1.2 委員会の構成		委 員	中村正和	中村船具工業㈱
委員長 野本謙作	大阪大学工学部	11	北本典男	日産自動車(株)マリーン部
委 員 荒井光雄	日本小形船舶検査機構	"	小林 昇	ヤマハ発動機㈱ボート事業部
》 歌田道教	( ) 出日本外洋帆走協会	11	千星幸三	ヤンマー造船(株)
∞ 鈴木竜夫	社日本舟艇工業会	関係関庁	網本汀司	運輸省船舶局
ク 金子光夫	社日本モーターボート協会	11	岡田 裕	· i
〃 熊沢時實	(有)岡本造船所	事務局	芝山安久	劇日本船舶標準協会
〃 鷺山 昭	西武自動車販売(株)	4	萩野義治	11
/ 浜中 係	トーハツ(株)		草野 博	
〃 甲斐 亨	東洋ゴム工業(株)	"	小郷一郎	4

図2 船外機年次別生産台数・輸出台数・出荷金額グラフ



#### 4.2 使用実態調査の実施

中部地区メーカー1カ所および関東地区マリーナ2カ所について、ぎ装品等の使用実態調査を行い、その結果を6.2に示した。

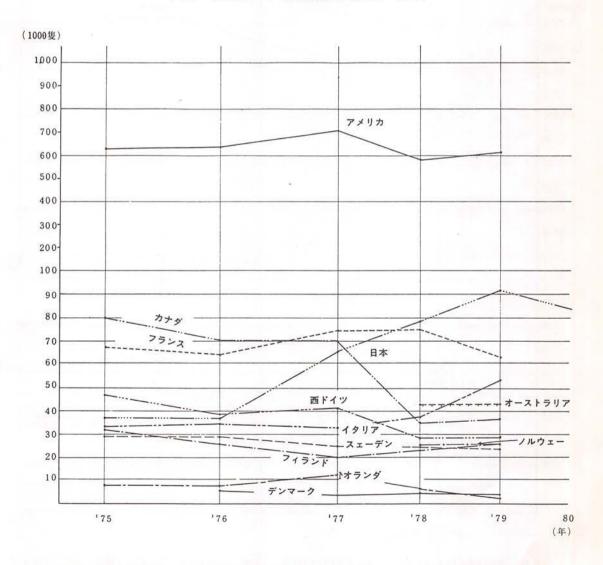
#### 4.3 収集資料

#### (1) 国際規格等

- ○国際規格 "Wastewater fittings"
- O \* "Tracks for yachts Intercharge

- ability dimensions"
- ○国際規格 "Rigging screws for stainless steel wire ropes"
- / (案)ISO/DP4565 "Anchor chains"
- "Inflatable boats made of reinforced plastomers or elastomers"
- 〃 (資料)"Length overall"
- O " "Outboard motor power"
- OList of individual parts, features or fittings

#### 図3 国別ボートの生産隻数(1975~1979)



<資料> INTERNATIONAL BOATING STATISTI-C S for the years 1975 and 1976 (ICOMIA) 及び19 76~1979(ICOMIA)より各国のボート年間生産隻数を年 度別にグラフに表したものである。 〈資料〉日本は日本舟艇工業会統計による。 数字はレクリエーションボート(モーターボート, ョット)にボート(ローボート,カヌー,競漕艇) を加えたものである。 〈注〉100,000隻から目盛りは1/10となる。

#### (2) モーターボート、ヨット等の規則等

- ○1978 ABS ルールの和訳
- ○1978ノルウェー船級協会ボート船級規制の和訳
- ○O.R.C 最低備品と設備基準を規制する特別規定
- ○フランスのプレジャーボートに関する規則の和訳
- (3) モーターボート、ヨットの一般配置図等

モーターボート、ヨットのぎ装品等の一般配置図 など, 15件。

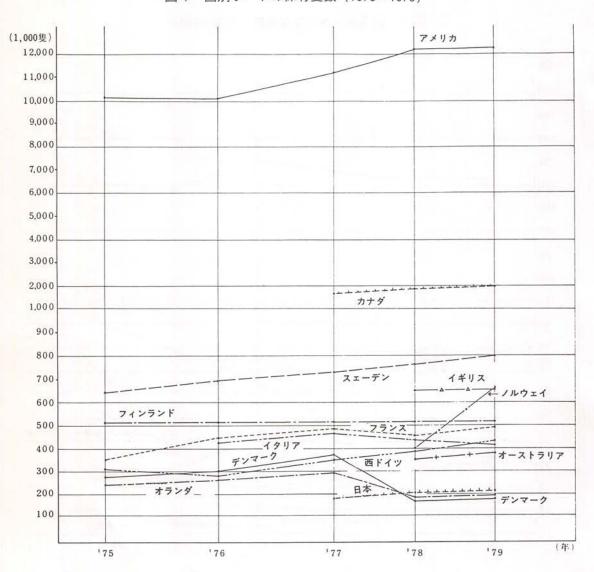
#### 5. 調查方針

第1回委員会において調査方針を次のとおり決定し

#### (1) 標準化の重点について

標準化を進めるにあたり考慮すべき重点は、用語の 統一, 互換性, 品質の向上, 種類の減少, コストの低減, 安全性, その他ユーザーおよびメーカーの役立つもの とする。

国別ボートの保有隻数(1975~1979)



〈資料〉INTERNATIONAL BOATING STATISTICS for the years 1975 and 1976 (ICOMIA) 及び1976~ 1979 (ICOMIA) より各国のボート保有隻数を年度別に グラフに表したものである。

〈資料〉日本は日本小型船舶検査機構の昭和54年度ま での検査済隻数を参考として記載した。

(これはプレジャーボート・ヨット・遊漁船の合計 である。)

〈注〉1,000,000隻から目盛りは1/10となる。

#### (2) 対象とする船舶について

対象とする船舶を次のとおりとすることになった。

- (a) ヨット (エンジン付を含む)
  - (i)クルージング/外洋レース用ヨット
- (ii)小形ヨット
- (b) エンジン付きモーターボート等
- (i)モーターボート
  - (ji)ゴムボート
- (iii)推進機関付サーフライダ
- (c) 小形船舶 [(a), (b), (d)以外]
  - (i) 遊漁船
- (ii) 業務艇
- (d) エンジンなしボート等
  - (i)被曳客船
  - (ji)ろかい客船
  - (III)手こぎボート
  - (iv)手こぎゴムボート
  - (v)ペダルボート等

#### (3) 工業基準の対象分野および内容区分について

工業基準の対象分野および内容区分については,法 定備品として定められているものは,とりあえず除外 して考えることとし,次のとおりとすることとした。

(a) モーターボート,ヨット等のぎ装品(部品,製品) を中心とした製品対象規格(性能規格を含む)。

- (b) 船外機の試験方法やヨットの帆走テストの実施 内容等試験、検査基準。
- (c) 国際規格が定められており、これに基づいて標準化の必要性のある項目。
- (d) 操作システム,装置,コンポーネント等の標準化。
- (e) モーターボート, ヨット等に使用される用語・ 記号等の標準化。

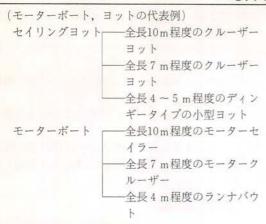
なお、対象とする分野で、すでに他の規則等と 重複する場合は、相互補完的に統一する方向で検 討することになった。

#### 6. 調 査 結 果

- 6.1 標準化の対象として適当と思われる項目の選定 について
  - 6.1.1 モーターボート, ヨット等に使用されてい るぎ装品等の調査および標準化を検討した項 目
- (1) 第1回委員会で調査の対象とするモーターボート、ヨット等の代表例を次のとおり選び出し、各々について委員各位から、ぎ装品等の一般配置図および部品リスト、輸入品のカタログリスト等、また、事務局から関係する国際規格等を第2回委員会までに提出することが決定した。

#### 表1 標準化が適当と思われる項目

項目	区 分	摘要
7 11 -	製品規格	ヨット専用のジャムクリート、カムクリート等特殊なものは除く
ガンネ	"	金属性のもので、小形艇中心に標準化する
フューエルフィラ (デッキ <sup>・</sup> レート)	"	燃料油用及び清水用を対象とする
フェアリー	7 11	JISF 2021 (フェアリーダ) とは別途に標準化する
シャック・	"	JISB 2801 (シャックル) とは別途に標準化する
· –	r n	JISF 3418 (船用シーブ) とは別途に標準化する
シンフ	"	JISB 2802(シンブル)とは別途に標準化する
リギンスクリ	, n	ISO/DIS 4558(リギンスクリュ) との整合を図る
ライフラインスタンショ	и	取付金具等含める。O.R.C の安全基準等参考とする
アンカーチェー	ıı ıı	ISO/DP 4565(アンカーチェーン) との整合を図る
ゴ ム ボ ー	n n	ISO/DIS 6185(膨張式ボート) との整合を図る
ステアリングAss	y 設計基準(システム含)	ISO/TC8/SCI4の新規標準化項目との整合を図る
リモコン装し	i "	システムとしてとらえる
燃料 装 :	t "	フューエルタンクの配管等を含めて標準化する
船外機のトランザム取付する	長 使 用 基 準	
船外機出力の測定基準	試験・検査基準	ISO /TC8/SCI4 の新規標準化項目との整合を図る
モーターボート, ヨット等! 関する用語の定義	用語·記号	
	合 計	17 項 目



#### (2) 標準化を検討した項目

第2回委員会において、各委員から提出されたモーターボート、ヨットのぎ装品等の一般配置図、部品リスト、関連する国際規格等に基づいて、次のような選定要領に沿って今後標準化が必要と思われる項目(約63項目)について検討した。

#### (選定要領)

- (a) 規格化することにより、生産の合理化および コストダウンが図れるもの
- (1)使用頻度が高いもの
  - (ii)形状,寸法がまちまちで種類が多すぎるもの(iii)互換性を必要とするもの
- (b) 品質の均一化が必要とされるもの(品質の確保)
- (c) 国際性が必要とされるもの (国際規格等との 整合などを必要とするもの)
- (d) ユーザの安全のために必要であるもの
- (e) デザイン等に関して、個人の好みの強いもの や芸術的な面が強いもの、ただし、船舶安全法 令で基準が定められているもの等は除く。

#### 6.1.2 標準化の対象として適当と思われる項目

第3回委員会の審議結果および使用実態調査結果に 基づいて,第4回委員会において,今後5年間を目標 に標準化を行う場合の対象として適当と思われる項目 を表1のとおり決定した。

#### 6.2 使用実態調査結果

今回の基礎調査の目的は、モーターボート、ヨット のぎ装品等に関する国内外資料の収集および使用実態 調査を実施し、この結果に基づいて、国際規格に対応 する標準化を推進するための基礎資料を得ることであ る。

国内外資料の収集については、委員の協力により 4.3収集資料の項で記載した資料のほか、国内各社の モーターボートおよびヨットのぎ装品等のカタログ類 を収集した。

これらの資料は、標準化を具体的に実施する際の手がかりとして非常に参考になる。また、収集された国際規格類、各国の規則類および O.R.C の特別規定は、

標準化を行う場合の技術的な指針を与えうるものと思われるので、今後詳細に吟味することが望ましい。使用実態調査は、メーカー1社およびマリーナ2社に出向いて、ぎ装品等の使用実態に関する調査を実施した。

なお,実態調査の際,次のような標準化に対する積 極的な意見があった。

- (1) ぎ装品等は、種類が多すぎるため、多品種少量 生産形態を取らざるを得ないため、どうしてもコスト高となる傾向が強いので、使用数量の多いものから標準化して欲しい。
- (2) 船外機,船内機,船内外機メーカーとしては, エンジン本体は国内外各社の特徴ある設計仕様と なっており,構成部品等の標準化は困難であるが, 出力の測定基準(試験・検査基準),燃料装置(設計基準),船外機のトランザム取付寸法等のソフト 面を中心に標準化して欲しい。
- (3) 我が国のクルーザーヨットの昭和55年の生産隻数は約550隻であり、今後平均的な需要が期待されている。使用されているぎ装品等は、輸入品の比率が高いが、国内製品は輸入品に劣らない品質とそれを生み出す技術能力があると思われるので、需要の多いぎ装品等から標準化すべきである。標準化する場合は、性能のみならず、デザイン的な面も重視するべきである。
- (4) マリーナの修繕部門としては、ぎ装品等の形状・寸法等が統一されていないため、購入しても取り付けられないことがしばしばあり、ユーザーに迷惑をかける場合があるので、互換性に重点をおいて標準化すべきである。
- (5) ぎ装品等の使用条件、耐久性、寿命等が明示されていない場合が多く、誤使用等によるトラブルが多いので、標準化する場合は、この点を明確にする必要がある。

#### 6.3 国際規格関係の資料調査結果

ISO 関係については、現在 ISO/TC8 の組織図、同 SC 14のメンバー構成国、審議中および制定済みの国際規格名、新規標準化項目を付図 5 および付表に記載した。また、国際規格を収集するとともに、EC の専門委員会で取り上げられた舟艇に関する標準化検討項目リスト等も収集した。

今後, 具体的に標準化を行う際, 該当する国際規格がある場合は, ガットスタンダードコード (貿易の技術的障害に関する協定)に基づいて, これらの規格との整合を図る必要がある。特に, 新規標準化項目, DP (国際標準原案), DIS (国際規格原案)等については, その審議経過を見守るとともに, 必要に応じて日本からも提案するなど積極的に対応する必要がある。

SC20 (J50H-) 健 注 號 造 粒 SC21 Offshore installations ールオン/オフ船 SC19 Roll on/roll off ship to shore installations (スケェーナン) の組織図 串 整 ア国ン アナラ SC18 Advanced navigational スロバキンの解・種間が、ないイン アンボイ instrum ents ストリア、カナタ、ナリ、コロンンド、ギリン・ ペンガリー・イ ラエル、メキシコ、ペキスタン・ 和国、トルコ、アメリカ、ペトナ ( m クッシャーフィーツ フラジル、フルガリア、中国、チェコ・ ドイン・インド・イタリア・日本、北 ノルウェー・ボーランド、ルーマニア・ ン・イギリス・ノ 連 ット分科委員会) SC17 リテンションシスティ Ship borne barges Retention systems () 煮) Rubber hose for automotive fuel and oil service (x--5-x) 祖区ロンベス Magnetic compasses SCI (NINAK) - - 1 SC15 ロンプ 4ータアプラケーション トンヤーナ Ш リア・オーン ラン・イメラン アンリカ共和 ピア Computer applications in Anchor chains the shipbuilding industry ( \* 1 / k) および SC14 SC14 メンシン シャンシャ ファンシャ ファンシャ リギンスクリュー Yachts Rigging screws (NINAK) (+ == x 田祖, 記号及び製図 SCII Terminology, symbols, 膨胀式ボート アンジート (造船および海洋構造物専門委員会) drawing, etc. Inflatable boats (ソランメ) 继 堂 T C SC10 0 Deck machinery アロイルナーバー (+9=1) Propeller tapers 技命軽及び数命設備 (+ = = 5) Lifeboats and lifesaving 32 72 (造物及四海宣傳) equipment 1. 12 7 40 ( I \*) 0 \* 船川九窓及び内窓 Ships side scuttles and Z 3 1111 # ( \* 1. m x ) TCS £ 2 0 \$ 内缝机行船 Inland navigation 煮) SO/TC8 IEC, IEC/TC18, IEC/TC80, IMCO, ILO, IACS, ECAFE ECE-Trans, CMEA, ICHCA, EFTA, ICS, INSA, ICOMIA, CIPA, CCE, UNCentre 機械及び配音 Machinery and piping 5, 10, 21, 28/SC6, 38, 43/SC1, 44, 58, 79, 105, 108, 111, 145, (VWYK) スクリューブロベラ 世 図 メンバー区 輕 Ship screw propellers 2 (UWYK) C14 X 153, 159/SC2 荷役装置及び付属金物 Lifting gear and S SC accessories (KY Y X) 幸 SO/TC 船体構造及び甲板金物 K Hull, hull fittings and equipment on deck ( + + = K) 췃 20 運営委員会 Steering committee

( \* 1. 1 \* )

を示す

は幹事国

\*

MO

Y.

逐

搖 設

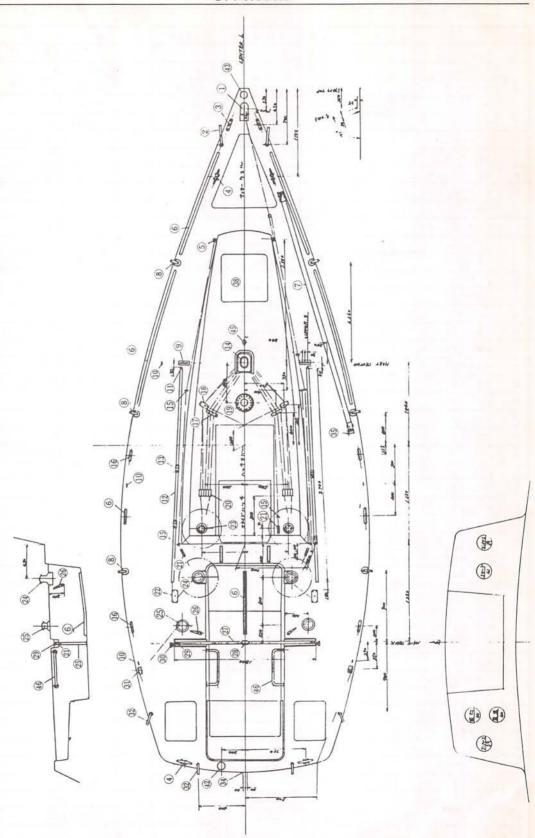
Ships' bridge layouts and associated equipment

#### ISO/TC 8 /SC14の制定済みおよび審議中の国際規格一覧

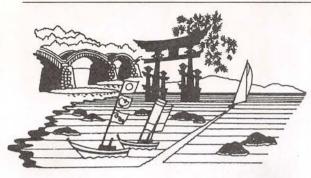
#### PROGRAMME OF WORK, at the end of the year

Item Pr.		Ref. number	Title	sc	Stud-	Target	St	age	R
number	, ,	working doc. DP DIS		50	ied since	date	Jan.	Dec.	1,
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
68.5		ISO 4567 1978	Waste water fittings/Raccords pour-eaux usées	14			7	7	
68.8		1SO 4559 1978 DP 4559	Sliders and tracks for yachts Interchangeability dimensions/ Coulisseaux et rails pour les bateaux de plaisance - Dimensions d'interchangeabilité	14	78		7 21	7 21	x
68.1	3	DP 4566	Propeller shafts and tapers/Arbres et cônes d'hélice	14	71		21	21	
68.3	1	DIS 4558	Rigging screw for stainless steel wire ropes and connecting parts for rigging - Interchangeability dimensions/Ridoirs pour cables en acier inoxydable et points d'attache du gréement - Cotes d'interchangeabilité	14	71		3	4	
68.9	1	DP 4565	Anchor chains/Châines d'ancres	14	75		23	23	
68.10	2	DP 4560	Horn cleats/Taquets de tournage	14	71		21	21	
68.12	3		Symbols and key holes of caps for fittings/Symboles et empreintes de clé des bouchons pour raccords	14			11	11	
68.13	2		Retention tanks/Reservoirs á rétention	14			12	12	
93		DIS 6185	Inflatable boats/Bateaux pneu- matiques	14	75		3	4	
			新標準化項目 Yachts—Fire protection of boats Yachts—Steering gears Yachts—Overall length Yachts—Toilet retention system for the treatment of marine toilet waste Yachts—Inflatable boats in plastic film Yachts—Marine fuel installations Small craft—Measurement of outboard motor power						

図7 ヨットのぎ装品等の一般配置図



番号	名	数	本体寸法	取付ポルト	備考
1	ステムヘッド	1			SUS
2	パウバルビット	1			φ 25 · //
3	フェアリーダー	2	150×34	φ 8 × 2	ROM AI
4	クリート	4	199×77	φ 6 × 4	ROM "
5	パットアイ	2	40×50	φ 5 × 4	N F275 S U S
6	トウレール		40×40		4 - 7
7	スピンボール	1			A I
8	ライフラインスタンション	6			SUS
9	チェンプレート	2			in .
10	Uボルト	6		φ 8	"
11	JIBトラックエンド	2		φ 6×1	A 1
12	n トラック	2	31×2700	φ6	и
13	n 1) - 7 -	4	90×44		ROM "
14	マストカラー	1			A I
15	デッドアイ	5		φ 5 × 2	
16	ハンドグリップ	6	B - 30 I = 150, 200		4 - 7
17	3連リードブロック	2	154×30	ø 6 × 3	T&M AI
18	2連チークブロック	2	120×60	× 4	ROM
19	タノイベンチレーター	1	φ 230		N F 433 S U S
20	2 連シートストッパ	3	87×65	ø 6×4	T&M SUS, AI
21	クラムクリート	3	106×25	φ 6×2	C L -201
22	ターニングブロック	2	160×75	φ 8×4	R O M31 - 3
23	ウインチ	2	φ 125	φ 6×6	ROM No20
24	11	2	φ 151	φ 8×6	" No22 (2speed)
25	n	2	φ 103.5	φ 6×6	" Na20
26	ジャムクリート	4	155×35	φ 6×2	PL
27	メインシートトラック	1	31×1800	φ 8	RF Al
28	" トラベラー	1	105×57	4.0	RF "
29	# チークブロック	2	100×01	φ 5 × 2	NF SUS.PL
30	アイ付カムクリート	2		φ 5 × 3	NF " PL
31	チークブロック	2		φ 5 × 3 × 4	
32	スターンバルビット	1		^4	φ 25 S U S
200	タンニングパックスティチェンブレート	1			
33		2			n
34	バックスティチェンプレート	1			7397 -0
35	メイントラックサポート	1			φ 25 "
36	ビルジボンブ	1			TOM CHE AT
37	3連シートストッパ	1	(500×500)	2 2 2 2 2	T&M SUS.AI
38	パウハッチ	1	580×580	φ 6×20	ROM
39	コンチストコンパス	2			ヒール計付
40	風向風速計 -	1式			
41	ログ付スピードメーター	1式			
42	スターンライト	1	φ 90		
43	バウライト	1	0.000		両色燈
44	ウインチハンドル	2	1 = 250		A 1
45	タイヤモンドバットアイ	1	80×55		NF SUS
46	フットレスト	2	ø 25		SUS



西内海支部だより

## 第3回 徳山グリーンカップレガッタ

待つこと久しいグリーンカップ。これがなければ西 内海に春が来ないというわけで、西内海支部のベスト メンバーが集い、3月20日、21日の両日、山口県徳山のグリーンヤマトマリーナをベースに盛大に催された。西内海の雄〈かづ〉(DOU42)、アルコールの入った金井オーナーがビッグボートを忘れて参加したというパンナム優勝の〈飛梅〉と同型〈美美〉(高井39)、松山の親分〈ノラ〉(DOU34)をはじめ27隻が参加した。

第1レースは、今年10月、松山で行われる全日本ミニトンのオルガナイザー、中平達子魔女〈サマンサ〉 (OCE23) が、周南フリートの陰謀だ、風はフレ回るし、吹きおろしの突風でブローチングはするし、地元の艇を買収しようと言っていた笠戸湾内で行われた。北東の微風、魔女が風を買収したのか、岸有利の定石は見事に覆り、東側のコースを引いた〈ノラ〉、〈美美〉、〈ストーミーペトレル〉(横山30)、〈国士無双〉(横山30)、〈アクアベルV〉(YA33),〈スノーウインド〉(YA33)が先行して、岸ベタのコースを引いた〈かづ〉、〈風車〉(横山30)、〈タランテラ3〉(HOL25)、グルーレディー〉(HOL25)等は「おかしいなあ」と遅れてしまいました。〈美美〉は微風でも良く滑って全

130

マークをトップで回航。着順4位の〈ストーミーペトレル〉が修正1位。同型の〈国士無双〉が2位。着順2位の〈ノラ〉が3位。最終レグでディンギー並みのタッキングマッチを演じたHOL25の天敵同士,地元の〈タランテラ3〉と,今年1月に松山で行われた初夢レースの覇者〈風神〉が、4、5位。ファーストホームの〈美美〉は6位となっ

第2レースは、翌21日7 時スタート。〈美美〉,〈風 早〉、〈ブルーレディー〉が ジャストスタート。白く, 海面高くそびえるオモ瀬灯 台を目指したが、風の変わ り目で混戦となり、〈ブル ーミスト》(YA30S), 〈グ リーン》(YA21S)、〈サマ ンサ〉、〈ディエーチャー〉 (YA26C), 〈カイミロア〉 (BW30), 〈サンシャイン〉 (YA30S) などが、スピン を上げたり、ジブを上げ たりで大忙がし。〈かづ〉 がようやく安定した北東の 風をつかんで快走する。雨 が降り出し, 視界の悪くな

#### 第3回徳山グリーンカップレガッタ成績表

	her A	iar ex	Arr Er	第11	第1レース		第2レース		合
クラス	艇 名	艇 種	艇長	着順	修正	着順	修正	クラス	総合
3/4	) 5	DOU 34	浜田正範	2	3	3	3	1	(3)
以上	美美	高井 39	金井準一	1	6	1	12	2	8
	アクアベルV	YA 33	森 裕司	6	9	4	10	3	9
	かっ	DOU 42	有田一郎	3	15	2	19	4	19
	スノーウィンドー	YA 33	森重幸典	7	12	11	22	5	20
	スリースター	YA 34C	芝 洋一	DNF	25	DNF	25	6	25
1/2	ストーミーペトレル	横山 30	小田 憲	4	1	5	4	1	1
	国 士 無 双	横山 30	三坂宣明	5	2	8	9	2	4
	風早	横上 30	木下詔一	8	8	6	6	3	6
	ブルーミスト	YA 30S	城 隆彦	14	19	7	14	4	13
	カイミロア	BW 30	田頭国昭	9	7	16	21	5	14
	サンシャイン	YA 30S	森本新一	12	16	12	15	6	16
	マンタレス	BW 30	田村章一	17	18	14	17	7	21
	アルラキス	YA 30 II	原田貞茂	20	24	20	24	8	24
1/4	タランテラ 3	HOL 25	布田康人	10	4	10	2	1	2
	プルーレディー	HOL 25	阪田栄一	15	14	9	1	2	-
	風	HOL 25	島津康弘	11	5	18	13	(3)	7
	ラシェスタ	YA 26S	秋本 徹	18	17	13	7	4	10
	ディエーチャー	TA 26C	藤井光秀	21	20	17	11	5	15
	スターシャ	YA 26C	田畑佳美	13	10	23	23	6	18
	べか	VA 25	奥田 実	DNF	25	DNF	25	7	25
	ザブルークロス	YA 25	重田吉晴	DNF	25	DNF	27	8	27
1/8	サ マ ン サ	OCE 23	中平達子	16	11	19	14	1	11
	グリーン	YA 21S	有野豊彦	24	23	15	5	2	12
	マイキドー	YA 21	石井義基	19	13	22	18	3	17
	つむじ層	YA 21	猪谷幸彦	22	21	21	16	4	2:
	カノブス	LPE	高田欣哉	23	22	24	20	5	2:

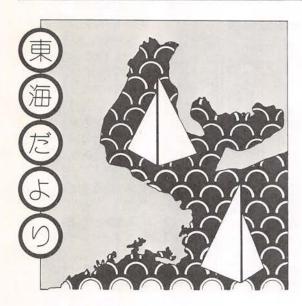
る中、〈かづ〉、〈ノラ〉、コースミスの〈美美〉の順で第2マークを回航。〈アクアベルV〉、〈風早〉、〈ストーミーペトレル〉、〈ブルーレディー〉、〈ブルーミスト〉と続いた。最終レグ〈美美〉の走りは素晴らしく、見事にファーストフィニッシュ。修正では、HOL25の〈ブルーレディー〉が1位、〈タランテラ3〉が2位と分け合い、〈ノラ〉が3位に入った。

総合1位は、昨年のオレンジカップ以来のビッグタイトルを取った〈ストーミーペトレル〉、2位に〈タランテラ〉と地元勢が奮起。松山の〈ノラ〉がコンスタントに走って3位となった。

とまあこんな具合で無事終了したわけですが、ガチガチのレースではなく、2回とも DNF となったものの、美女群を乗せ、レースを忘れて酒宴におぼれた〈スリースター〉(YA34C)、息子二人の教育のため、ティラー片手にウィンチハンドルを振り回し、ついついタイムリミットを過ぎてしまった〈ベガ〉(YA25)など、非常に有意義、かつ教育的なレースでした。第4回も楽しく充実したレガッタにしたいと思います。



総合優勝の〈ストーミーペトレル〉



## 第1回フリート対抗レース および東海地区 チャンピオンシップレース 開催される

レースのマンネリ化から脱皮しよう。もっとフリートに刺激を与えよう。我々ヨットマンの共通の話題をもとう。そして徹底的にシビアに行こう……etc.と,エキサイトしたこの提案が、昨年行われた11月例会で

の支部意見交換会で意見が出され、その後この新企画を煮詰めて、第1回の「フリート対抗レースおよび東海地区チャンピオンシップレース」が早春の訪れとともにやっと実現できました。

今年より新しく発足した碧南フリートを加え、伊勢湾、五ヶ所湾、衣浦湾、三河湾より10フリート、各フリート3艇の代表艇が一斉に幡豆沖に集結し、1983年のオープニングレースにふさわしく、スタートを切りました。

フリート対抗レースは、第1、第2レースのオリンピックコースをフリート代表艇の合計総合得点で順位を決め、チャンピオンシップレースは、その中でも1 艇だけ最も総合得点の高い艇に与えられます。

このシーズンオフの間,新しくデビューした艇,フリート内の白熱戦で選択されて来た艇,そしてこのレースのために強化チームを編成した艇など,東海地区ビッグレースここにありといった艇群でした。



レース艇群

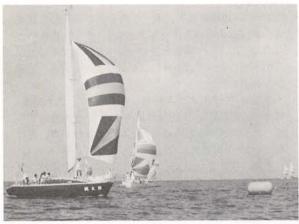
## 春の女神は〈桃太郎〉とお友達

〈桃太郎〉 片岡俊夫

ファ・ファ――クション、春のそよ風が鼻毛をゆする。ファ・ファ――ストホームだ!〈桃太郎〉。こいつは春から縁起が良いわい。ワイワイ酒盛りだ。一番のりで昼飯だ。「おにぎりころころばくりんこ」などとあまりはしゃいでいてはねたまれるし、よだれ垂らして飯くらい、よっく考えれば第2レースがあったんだ。

ふと思う "第2レースでびっけになったら、なんて慰め合おうか?"海にぶかぶか浮んで、楽しい楽しいランチタイムも、10分前の長音一発で夢からうつつに引きもどされたのであった。

さて、第1レースの勝因はというと、なんといって も春の女神とお友達になったことであった。陸近く



第1レース第1マーク回航の〈桃太郎〉



マーク回航する〈ノア〉(右)と〈ララ〉(左), マークタッチした〈桃山〉(中央)

### 第1回フリート対抗レース・東海チャンピオンシップレース成績表

58年 3 月20日 ※1 仮T·C·F ※2 5%ペナルティー

フリ			第 1 レース					第 2 レ ー ス					合 計					
1	艇 名	T·C·F	着順	所要時間	修正時間	順位	得点	フリート得点	フリート順位	着順	所要時間	修正時間	順位	得点	得点	順位		フリート順位
	+ + 8	0.8310	7	1:57:24	1:37:34	19	2			5	1:35:53	1:19:40	15	6	8	20		
武	シンドバット3	0.8022	17	2:03:16	1:38:53	20	1	231/4	5	4	1:35:22	1:16:30	9	12	13	15	61%	3
型	梳 太 郎	0.7560	1	1:45:43	1:19:55	1	201/4			2	1:34:12	1:11:12	1	201/4	40%	1		
	ピンド 7	0.8345	2	1 46:55	1:29:13	8	13			1	1:29:12	1:14:26	4	17	30	4		
幡	ミール 5	0.7620	14	2:02:24	1:33:16	15	6	38	3	7	#2 1:42:46	1:17:28	10	11	17	12	76	2
豆	長 良	0.7269	4	1:53:07	1:22:13	2	19			15	1:46:58	1:17:45	11	10	29	6		
***	モランボン	0.7640	11	2:00:14	1:31:51	12	9			8	1:38:26	1:15:12	6	15	24	8		
碧	ホライズン5	%1 0.7343	6	1:56:55	1:25:51	4	17	40	2	6	1:37:45	1:11:46	2	19	36	2	87	1
南	ノーボディー	0.7333	12	2:01:12	1:28:53	7	14			13	1:43:46	1:16:05	8	13	27	7		
58	トモエリカ5	0.7333	15	2:02:50	1:30:04	11	10				D.N.S			1	11	17		
三河湾	ラ ラ 10	0.7290	9	1:58:57	1:26:43	(5)	16	41	1	12	1:43:26	1:15:24	7	14	30	(5)	60	4
湾	レインボー5	0.6910	20	2:08:06	1:28:24	6	15			18	1:57:30	1:21:05	17	4	19	10		
-	富 洋	₩1 0.7312	16	2:02:51	1:29:50	10	11			11	1:47:33	1:18:38	13	8	19	11		
四日	桃山	±1 0.7590	8	1:57:54	1:29:29	9	12	30	4	17	1:52:05	1:25:04	18	3	15	13	46	5
市	チャフル	®1 0.7385	18	2:04:56	1:32:16	14	7			16	1:47:57	1:19:43	16	5	12	16		
高	コルセア	0.7882	13	2:02:20	1:36:25	18	3	01	c	10	1:39:55	1:18:45	14	7	10	18	44	7
貴	7 - 7	0.7530	3	1:51:47	1:24:10	3	18	21	6	9	1:39:23	1:14:50	(5)	16	34	3	44	
£i.	朝鳥	0.7863	10	1:59:56	1:34:18	17	4			3	1:34:33	1:14:20	3	18	22	9		
五ヶ所・鳥羽合同	1 7 7 2	0.7985	5	1:55:16	1:32:02	13	8	17	7		D.N.S			1	9	19	45	6
哥高	1 7 5	0.7375	19	2:07:40	1:34:09	16	5			14	1:46:37	1:18:37	12	9	14	14		

行った先行艇に反し、なんとなく沖合いをすべってい くと、知らぬまに第1マークはトップ回航。おお、女 神様,よい子の〈桃太郎〉に力をくださった女神様. どうぞこのままトップの座を与えたまえ……。ぶつぶ つつぶやいているうちにコースは短縮され、第1回フ リート対抗レース、第1レース1位と1をかき集めた のである。

そして第2レースのはじまり、はじまり――。引き 続き春のそよ風〈桃太郎〉風。するするすべって楽し いセーリング。あれよあれよと2番手フィニッシュ! もちろん修正で1位。

みんなびっくり春の〈桃太郎〉でした。 今年もよろしくお願いします。

## 野島レースに 連続優勝して

3月21日朝5時,風弱く小雨。6時10分のスタート 時には5メートルほどの東の風であったのが、上マー クを回ってしばらくして、次第に北へ振れ、落ちてし まった。視界300~500メートル。

わずかな風の中を〈ビンド〉が良く滑らせて間もな く見えなくなった。微風、強風にかかわらずコンスタ ントに走らせる技量はいつもながら素晴らしい。

スピンアップ, 艇速2ノット, 風上200メートルぐ らいを〈ララ〉が抜いて行く。こちらはカーム。〈桃 太郎〉も前方で止まっていたが、ほどなく風を拾って

> 帆走委員長 中村 孝

#### 野島レース成績表

スタート: 3月21日0600 コース:S→W·M→野島→馬草→下(25マイル)

クラス	艇名	艇極	セール	艇長	T·C·F	野島回	所要時間	修正時間	順	位	DE N
	MC 4.3	800 TM	No.	WE IX	1.C.F	航時間	所安时间	ASTUALIN	総合	クラス	備考
1	ピンド7	DOU43	2558	小林	0.8345	09:20	7:33:50	6:18:43	6	4	1
2	NACHIW	DOU42	2312	二村	0.8310		D.N.F				
2	カレラ	HOL40	2210	渡辺	0.8230	09:35	7:40:33	6:19:01	7	5	2
3	シンドバットⅢ	KIH 38	2900	松本	0.8022	10:22	8:18:08	6:39:36	9	7	10
2	美 濃	FAR110	2080	林	0.8177	11:30	8:14:14	6:44:08	10	8	4
3	ITSUKIII	KIH 38	2723	坂谷	0.7985		D.N.F				
3	コルセアⅢ	NAK37	2410	岡田	0.7882	11:50	8:17:01	6:31:44	8	6	8
3	丸 玉 丸	DOU37	2339	王山	0.7873		D.N.F				
3	朝息	DUB37	2477	加藤	0.7863	09:35	7:49:26	6:09:06	3	1	3
4	桃 太 郎	NAK34	3121	都築	0.7560	10:00	8:17:33	6:16:08	5	3	9
4	M A R K	DOU34	2634	河辺	0.7530	10:47	8:16:03	6:13:31	4	2	5
4	うずしおII	NAK33	2870	岡山	0.7610	11:34	D.N.F				
5	オセアニッドEX	NAK295	2765	吉田	0.7280		D.N.F				
5	長 良	NAK31	3022	矢野	0.7269	10:44	8:16:18	6:00:45	1	1	7
5	うらなみ VI	Y 30	2431	市川	0.7150	D.N.F	D.N.F				
5	RAFAX	YOK31	3037	山崎	0.7290	10:30	8:16:10	6:01:42	2	2	6
6	レインボーV	KIH 26	2305	酒井	0.6901		D.N.F				
5	レッドスター and 楽 姉 丸		2867	永坂	0.7258		伴走				

視界から消えて行った。風下の〈ナチ〉、〈シンドバット〉 もほとんど止まっている。いらいらする風待ち。やっ と少しずつ走り出し3~4ノット。10時20分ころ野島 の影を見る。〈桃太郎〉,〈ララ〉はすでに回航している。 反射的に野島と松ヶ島間をショートカットしようと口 走る。ヤバイからやめようよ派と行ってみようよの楽 天派に分かれる。

チャートで再確認すると、幅は30メートルぐらい。 最深部で5メートルだが、この幅は10メートルぐらい か? 軽風のフリー、満潮。引き潮なので、イクこと に決定。

コース210度で進入、ボートフックで松ヶ島に届き そうだ(松の木は1本もなかった)。その一番狭いと ころで"凪!"一瞬顔を見合わせるが、案ずることな く引き潮にのって、あっけなくクリアー。最後の暗礁 が左舷下を流れ去った。

今度は〈長良〉にツキが回ってきた。コースも88度。 風下の〈桃太郎〉、〈ララ〉は間もなく後方へ消えてし まった。スタートからほとんど13マイル地点で、先行 艇は〈ビンド〉,〈カレラ〉、〈朝鳥〉だけだ。

馬草のブイを〈コルセア〉と同時に回り、最終レグ へ向かう。

次第に風が強まり雨もやんできた。No. 2 にセール チェンジし、間もなくワンポイントリーフする。

フィニッシュの幡豆港が見えてきたころ, 前線様の お通りで激しいブローに叩かれる。

岸近くなので,波は10~20センチとかわいいくせに、 波頭がちぎれて踊っている。

メインを完全にシバーさせても風下舷は水につかっ てしまう。後続艇にも皆追いつかれてしまった。あと

> 数分でフィニッシュだ。〈ラ ラ〉が迫って来る。〈ララ〉 以外はレーティングの心配 はない。第2集団の〈美濃〉、 〈マーク〉、〈ララ〉、〈長良〉、 〈コルセア〉, 〈桃太郎〉, 〈シ ンドバット〉と数秒から1 ~ 2分の間隔でフィニッ シュする。〈ララ〉には¼ 艇身遅れをとってしまった。 30分後には、また凪とな り、後の艇は DNF になっ てしまった。

> 2年連続優勝出来たの は,本当にラッキーだった。 風様, 帆走委員長様, レー ス委員長様, 今年も〈長良〉 にツキをお恵み下さい。一 同感謝。

(矢野,藤原,河内,東, エリック, より。)



## 「玄海の限界」は江戸初期

玄海支部広報 片倉静江

今までお読みになった本を並べると、地球を一周するのではないかと思われるほど読書家の大原前支部長から、「玄界島」について御丁寧なお手紙を頂いた。それと同時に、正しくない九州弁も指摘されたのでぜひ紹介させて頂きたい。(貴重なお時間をさいて、拙文を読んで下さった方がいらっしゃったんですね)

「郷土が誇る江戸初期の学者貝原益軒は、20年の歳

月をかけて〈筑前国続風土記〉を編集しています。その巻二十三志摩郡の項に〈玄界島〉の記載があります。 その初めの部分を写筆しますと、

〈玄界島〉。唐泊ヨリ東北一里許ニアリ。福岡ヨリハ海上六里。此島初ハ久島ト云。 又其ノ初八月海島ト云へリ。其ノ後改テ玄界島ト云トイへリ。(後略)

玄界灘の記載は見あたりません。すなわちゲツカイ島 が、ゲンカイ島になまったことがわかります。(月と 海の島?何と美しい名前!)。貴女の言われる「大昔」 が、江戸初期を指しているのなら貴女の解釈は正しい のですが……。(すいません。何となく大昔って書い ただけなんです)。更にもうひとつ。「ドゲンデモ ヨ カデスタイ」の記載がありました。よそんもん(よそ の人)が怪しげな九州弁を使うのは意に介しませんが、 貴女には正しい九州弁を要求します。「ドゲンデモ ヨカ | は誤り。「ドゲンデン ヨカ」が正しいのです。(ソ ゲンイウテン……なあ一んちゃって。それにしても、 広範囲にわたる読書の内容にいつも驚かされてはおり ましたが……。貝原益軒といえば、或事以外何を研究 していた方かしら?……ぐらいの浅学非才の広報担 当、今日から心を改めモリモリやります。え?何ですっ て? いいえ! もちろん読書ですよ)。

## 第2回熱海ケッチミーティングのお知らせ

••••••••••••••••••••••••••••••••••••

水ぬるみ、潮の香が我々をいざなう春、日頃レース とはあまり縁のないブルーウォーター派に、熱海の海 に集まっていただき、前回好評に終わりましたケッチ ミーティングの第2回を行うよう企画いたしました。

今まで、ケッチ、ヨールなどの集まりがあまりなく、 この機会に多数のヨットマンにお集まりいただき、仲 間同志の連帯をはかろうと思います。

記

主 催 熱海ケッチミーティング委員会 (会長 山田順一)

後 援 熱海市・熱海市観光協会・熱海後楽園ホテル

協 賛 熱海温泉旅館組合・熱海商工会議所・大熱 海漁業協同組合

日 時 昭和58年5月28日(土)~5月29日(日) 5月28日

1200 相模湾 初島西港集合35°-02′N, 139°-10′E集合

1230 艇長会議 前祝パーティー

1330 初島, 熱海間 親善レース (10マイ

ル)

1630 タイムリミット

1700 熱海港係留 入浴 後楽園ホテル (無料)

1900 熱海後楽園ホテル田辺英蔵氏主催 〈ふじやま丸〉にてパーティー

5月29日

0900 熱海湾セーリングパレード

1100 解散

参加資格 ※自己の責任において航行する艇

※2本のマストを有するセーリングクルーザー [スループをケッチに(偽) 艤装可 ――レース成績は2本マスト艇と偽装艇とに分けます。]

\*\*出艇料 15,000円を支払う意志のある オーナー

※パーティー代 3,000円(1名)

賞品 一2本マストの部一

ファーストホーム賞…フジヤマ丸杯・副賞 1 位……熱海市長杯・副賞 當 品 2 位…………商工会議所会頭杯・

副賞

B. B賞……ロータス賞

仮装賞

一スループの部一

ファーストホーム賞…蒼竜杯・副賞

1 位 …… 熱海市観光協会長

杯·副賞

2 位………熱海温泉旅館組合長

杯・副賞

B. B賞

偽装賞

全艇に参加賞

ケッチ,スループともレーティングなし, ただし、女性同乗者1名に付1/100の時間 短縮特別ボーナスをあたえる。

◎パーティーのみの参加も大歓迎。

◎報道艇の用意もしてあります。

※連絡先 〒413-01 熱海市上多賀白石

伊豆ヨッティングワールド内

熱海ヨット協会 担当:鷲尾誠司

☎ (0557) 67-1100

夜間 稲葉文則 ☎ (0557) 82-3492

スタート日時: 4月2日 1105 А ... クラス 初島レース成績表

帆走委員長 前田泰明

Aグループ	ク順	ラス位	セール番号	艇 名	TYPF	初島	フィニッシュタイム	着順	所要時間	TCF	修正時間	総台順位
9	Ι	3	2112	FIJI III	FRE 4	4 1610	19:13' 34"	4	8:08' 34"	0.8575	25137	13
3	II	2	2000	GEKKO V	FRE 4	1 1545	18:40' 21"	3	7:35' 21"	0.8195	22390	(3)
2		1	2999	LAZY ALBATROSS	TAK 4	0 1550	18:37 27	2	7:32'27"	0.8114	22027	2
13	Ш	3	2001	SOLTAS III	T&P 3	8 1647	20:23' 59"	11	9:18'59"	0.7976	26751	20
1		1	2220	SHINKIRO	CAS 3	7 1552	18:24 51	1	7:19'51"	0.7854	20727	1
14		4	2751	BELLATRIX II	HAYA3	4 1655	20:24' 39"	12	9:19'39"	0.8031	26967	21
6		2	2905	JACK TAR II	TAK 3	4 1612	19:19'51"	7	8:14'51"	0.7699	22859	6
10	IV	5	1850	VEGA V	DOU 3	3 1643	20:27 11"	14	9:22'11"	0.7458	25157	14
11		6	1900	TAPPI III	DOU 3	3 1645	20:31 52"	15	9:26'52"	0.7437	25285	15
12		7	2636	ARCH	DOU 3	3 1700	20:26' 32"	13	9:21'32"	0.7600	25606	17
7		3	2640	SEIKAIHA	KIH 3	3 1640	19:50' 34"	8	8:45' 34"	0.7580	23903	9
			2713	CAVOK II	GRA 3	4				0.7519	DNF	22
15		8	3020	FORTUNE	NAK 3	3 1733	21:27' 07"	21	10:22'07"	0.7650	28555	24
(5)		2	3035	MARTHA	WAG 3	4 1620	19:18' 40"	5	8:13' 40"	0.7640	22630	
8		4	3083	SONN BLUME	VEN 3	0 1700	20:59' 45"	18	9:54' 45"	0.7489	24702	10
4		1	3093	FORTY III	YAM 3	4 1630	19:19' 30"	6	8:14' 30"	0.7590	22520	-
3グループ												
7	٧	7	610	HISHIYAKAKU	W 3	5 1725	21:28' 50"	22	10:08'50"	0.7301	26671	19
			1992	DOLLY I	ELV 3	2	Mark Control and	1.0000		0.7269	DNF	1000
1		1	2011	GAMERA	TAK 3	1 1652	20:07'05"	9	8:47' 05"	0.7312	23124	- 7
6		6	2182	KERONIA V	DOU 3	1720	21:14' 19"	20	9:54' 19"	0.7248	25846	18
			2466	MERLUZA III	NAK 295	5		ear.		0.7333	DNF	1,225
9		9	2677	GREAT PEOPLE	NIC 3	1750	21:38' 16"	24	10:18'16"	0.7312	27125	23
4		4	2954	ALPHA	NAK 295	1710	20:47' 14"	17	9:27'14"	0.7343	24991	12
5		5	2965	TSURUGI	NAK 3	1 1713	21:06' 44"	19	9:46'44"	0.7269	25590	16
			2997	SUMMER KNOWS	TAK 3	1	34.010.23.2.311			0.7354	DNF	18.000
2		2	3055	SAMOA V	U 3	1 1653	20:21' 02"	10	9:01'02"	0.7322	23769	8
8		8	3088	BUN BLE BEE II	YAM 3	)	21:31' 29"	23	10:11' 29"	0.7365	27021	22
			3099	RUBAIYAT II	NISS 3	)		0.000		0.7312	DNF	26000
3		3	3208	MAMI	YAM 3	1720	20:44' 19"	16	9:24' 19"	0.7343	24863	1
	VI		2260	RODEM V	T&P 20	5				0.6901	DNF	
10	VII	1	2513	BLUE PULSAR	HAY 19	1810	23:44' 03"	25	12:24' 03"	0.6699	29906	25
			2995	SUI SUI	HAY 20	)				0.6662	DNF	



#### NORC協会ニュース

### NORCに新職員

NORC 本部事務局の顔ぶれが変わりました。さきに退職された小林常務理事の後任は河村次郎氏,約12年間経理を担当して頂いた山崎職員の後任には矢部富美子嬢が決定しました。以下お二人の自己紹介です。



常務理事 河村次郎 大正12年9月生 高知県出身

昭和20年神戸高等商船学校卒業,海軍1年,商船5年,海上保安庁32年在職,この間乗船勤務25年,陸上勤務12年,航海士,巡視船船長,海上保安部長を歴任。本年4月よりNORCに奉職。ヨットの経験は学生時代に木造よろい張ディンギーに休日を楽しんだ程度。目下外洋ヨットについて勉強中。海難事故の絶無を計り、また、会員サービス第一を心がけ、NORCの発展に微力を俸げたい。



矢部**富美子** 東京都出身 独身

池ノ坊学院という花嫁修業学校を出ながら、在学中に知り合いが持っていた24フィートのクルーザーに乗せてもらったのが人生の別れ道。ひたすらヨットハーバーに通い続けて1?年、そしてこの度 NORC の職員となりました。レース経験ゼロ、コミッティー経験多数。2年前にやっと1級小型船舶操縦士の免許を取得しました。ちなみに車の免許はまわりの大反対により持っておりません。10年以上勤められたベテランの山崎さんにかわって経理を担当することになりましたので、会員の皆さん会費等はいつもニコニコ現金払いでお願いします。

#### お知らせ

本誌4月号6ページに紹介しました船舶職員法施行令第2条関係配乗表の第一号表:小型船の表中,外洋小型船の項で「運輸省令で定める区域」について,会員諸氏から問い合わせがボツボツありますので,4月9日付で定められた「船舶職員法施行規則の一部を改正する省令」(運輸省令第20号)で改正された同規則第61条第1項を掲載します。なお,参考までに,主として帆を以て運航する装置を有する船舶は,機関を有するものといえども帆船とみなされます。

(令別表第1号の表の運輸省令で定める区域) 第61条 令別表第1号の表外洋小型船の項の運輸 省令で定める区域は、次の各号に掲げる外洋小 型船の種類に応じ、それぞれ当該各号に定める 水域とする。

- 1. 帆船以外の外洋小型船;沿海区域の境界から その外側80海里の線に囲まれた水域
- 2. 帆船である外洋小型船;北緯60度の線以南であり、かつ、南緯60度の線以北である水域

### 領布物品のお知らせ

NORCでは小笠原レース記念Tシャツを頒布することになりました。数量に制限がありますので、お早目にNORC事務局までお申し込み下さい。

サイズ S, M, L の各種サイズあり

色 紺地に白のプリント

価格 2,000円

数 量 100着 先着順とさせていただきます



### ●通信委員会よりお知らせ

## 電波航法機器セミナー開催

2月19日の NORC 理事会で、レース時の電波航法 機器の使用が解禁され、レース規則も次回の理事会で 明確にされることになると思います。

今まで天文地文航法でレースに臨んでいた皆様も、 新航法導入、機種の選定や運用方法などで不明の点が 数多くあるかと思いますので、電波航法を研究してお られる鹿児島大学航海計器学教室、田口一夫教授をお 迎えして、小笠原レース時の運用航跡自動記録などを 基に、下記予定でゼミナールを開催致します。会員各 位の参加をお待ちします。

日 時 昭和58年5月30日月曜日 18時

場 所 船舶振興ビル10階会議室 先着50名

講 師 鹿児島大学航海計器学教室 田口一夫教授

テーマ 双曲線航法概論

各種双曲線機器特長と使用可能海域 位置測定時の誤差

施工,使用,計算機能の活用方法

主 催 NORC 通信委員会

後 援 協立電波工業 光電製作所 日本無線 吉野電気 (50音順)

会場費 会 員 500円

非会員 1,000円

会 友 700円

展示品 ロランC受信機 衛星航法受信機 (NNSS) オメガ受信機 その他関連資料など

参加お申し込みはNORC事務局へ先着順メ切。

## 無線従事者 特殊無線技士(国際無線電話) 受験勉強会

標記勉強会を下記の通り開催いたしますので、参加 希望者は NORC 事務局までご連絡下さい。

場所 船舶振興ビル10F A会議室

日時 5月19日(木) 1800~2100

5月26日(木) 1800~2100

6月2日(木) 1800~2100

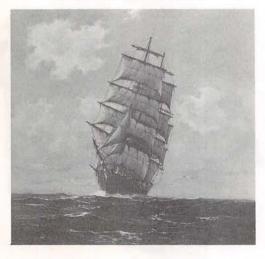
6月9日(木) 1800~2100

6月16日(木) 1800~2100 (予備日)

## 海ゆくロマン……

## 鈴木政輝油絵展

――帆と潮風の詩――



#### 会場/東京新宿 伊勢丹

新館7階美術画廊

会期/昭和58年6月18日(土)~24日(金) 水曜日定休・最終日は5時まで

#### ——入場無料——

栄光の帆を揚げて、七つの海を馳せる大帆船! そして、その姿を讃えてやまぬ濤の歌、風の声。いま、その壮大なロマンをきびしい感性で的確にとらえた海洋画の真髄の数々をここに展観。

#### <鈴木政輝略歷>

1924年 長崎県島原市出身

1939年 画業に入り、内外に作品を発表。特に、ヨ ーロッパをはじめ多くの海洋国において、 各時代の帆船の研究および海の取材を続け、 本格的海洋帆船画を制作。

1983年 10月大阪において開かれるアジア初の世界 帆船祭記念作品「海王丸」が大阪市庁舎に 収蔵さる。また、同時に大阪市後援により 「鈴木政輝・大帆船海洋画展」を大阪にお いて開催。 費用 会員:6,000円 非会員:10,000円

(上記金額には教材等は含まれておりません)

定員 先着40名まで (定員になり次第, 申し込みを締め切ります)

講師 岩瀬靖近 (JA1LG, 日本アマチュア無線連盟 理事,養成課程講師)

- ●いままでに岩瀬靖近氏を講師として行われた特殊無 線技士(甲)の勉強会、および国家試験出席者の合格 率は約90%の高率でした。
- ●今回の勉強会は、6月17日に施行される国家試験に 向けてのものですが、

今回,受験申請書を提出しなかった方次回,受験希望の方

8月に施行予定の「電話級無線通信士」受験希望の 方の参加もお待ちしています。

### 「横浜どんたく」のお知らせ

港横浜の新しい祭「'83国際デー・横浜どんたく」が開港記念日の6月2日~6月5日まで開催されることとなりました。中でも6月5日には、海上イベントとして、①〈シナーラ号〉の港内一周無料乗船会(1400~1700)と、②「みなとみらい21」市長杯争奪ヨットレース(横浜港~シーボニア間 1200スタート)が行われます。参加希望者は下記までご連絡下さい。

記

横浜どんたく事務局 横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館内まで。

## 新登録艇の紹介

セール番号, 艇名, 帆装, フリート, 全長× 水線長×巾×吃水, オーナー名, その他の順 ☆印は会友艇

2818 タック デュボア ニシノミヤ  $9.471 \times 7.7969 \times 3.0270 \times 0.9276$  小出拓己/艇名の由来:自分の名前から。拓己(タクミ)よりタックとつけました。 /抱負:クルージングとレースと半々でがんばりたいと思います。 / クルー:クルーはまだよせ集めで,徐々に若い人を訓練していこうと思っています。

2448 µ(mu) ミュー JOY 26 津市 7.90×6.70 ×2.80×1.50 伊藤恭明, 武内徹郎, 長野隆, 松下弘, 伊藤智志(共同)/艇名の由来:進水2週間前,グルー プのミーティングの席で、我が名誉艇長、ドクターテ ツこと武内オーナーの命名。由来は未だ?/抱負:先 代、ミニトン (KAZE) 同様よろしくお願い致します。 セールナンバーは引き続き2448です。キャビン内で マージャンをしているわけではありません。(念のた め) / (共同オーナー紹介) : 武内徹郎, 外科医, 我 がグループの名誉艇長, 通称テッチャン。長野隆, 世 界の港に?あり。外洋本船2等機関士。通称オッチャ ン。松下弘, 運送会社役員。津のハーバーの名物男, 通称マッチャン。伊藤智志, 我がグループ唯一の学生 ヨット部出身者。ヘルムスマン、通称トモジクン(求!! ヨメさん)。伊藤恭明,不動産会社のタダのサラリー マン。陸の上ではヘルムスマンの兄でも,海に出れば ……バウデッキ。

2662 ARIADNE Ⅲ世 なかよし295 油壺三崎マリン 楳田敏雄,川崎辰俊,浅野良一,渡部温,木砂和久,花田尭弘,松田記昭,秋本忠彦,福富廉,石踊徹志,小室雅美(共同) / 艇名の由来:ギリシャ神話,クレ

タの王、ミノスの娘。活動以来3艇目になったので、 Ⅲ世とする。アドミラルズカップレースの〈アリアドネ〉は遭難したが、我々はそれを教訓としたい。/抱 負:安全第一を考えながら、幅広いセーリング活動を 通して仲間の夢を大きく育てたい。具体的には、国内 周航、南太平洋、世界周航/NORCへの希望:特に なし。

3177 ハツ 横山37 高松 11.25×8.60×3.87×2.00 日下正典/艇名の由来:妻,ハツ子より『ハツ』と名づけました。艇のスターンは,妻の横顔のシルエットのデザインにしています。/抱負:オーシャンレースに出場予定! 高松のハツここにありといえるよう,クルーまたオーナー同練習に頑張ると意気込んでいます。/クルー:470級ヨット王国香川県が生んだ名スキッパー,斉藤隆を始めとして,森敏貢,萱原健二,またレース中に奇跡を呼ぶ田中徹,博之兄弟そのほか新しいクルーの人達がどんどん育っております。

2995 SUI—SUI ハヤシ19 江の島  $5.9 \times 5.5 \times 2.4 \times 0.95$  松崎孝男/艇名の由来:だれかが発案したのをそのまま使用。特に由来はないが,名前で見る限り微風で走りそう。/抱負:今回のミニトンクラスの「認知」(数本ではあるが島回りレース参加 OK となる)により少しはハッスル出来るか?

**OFFSHORE** 第98号 昭和58年 5 月15日発行

毎月1回15日発行 昭和52年7月21日 第三種郵便物認可 1部定価300円(郵送料45円)

発 行 社団法人 日本外洋帆走協会 東京都港区虎ノ門1-15-16(船舶振興ビル4階) 電話・東京03(504)1911-3 〒105

郵便振替番号 2-21787

印 刷 正進社印刷株式会社



ヤマハ33 ||はレーサークルーザーとして評価の高いヤマハ33の海外モデルをベースに誕生。クラブレーサーとして十分な性能は、クルーザーに求 められる機能はどうあるべきか。理想を追求し、数かずのレース経験とヤマハの先進技術をおしみなく投入したヤマハ33 []。微風時にはわずかの風 も逃さず滑らかな帆走性を。中・強風時にはグングンと加速度を増す力強い走行性を発揮。風を選ばないオールラウンドな走りには、海外での実績 が息づいています。キャビンはドッグハウスを高くし、ヘッドルーム1.90m、最大幅3.36mと余裕ある空間を実現。ギャレー、ナビゲータースペース、化粧室、

ハンギングロッカー、大型サイドシェルフな ど海の生活に必要な要素を機能的に配置。 長距離航行を配慮し、室内の隅ずみまで快 適さを求めました。レース派の熱望に応える 帆走性能、クルージング派の期待に応える 居住性を達成して、いま日本のヨットマンに。 ▲メインキャビン(左髪のリーボードキャンパスは工場持備)



全編3.36m 吃水1.90m 船体重量4.872kg バラスト重量1.968kg 全セイル面積45.73mシ補機15馬カ/バース数7名/航行区域 遠洋 定員12名(近海以上8名)/燃料タンク容量701/清水タンク容量1700

資料ご希望の方は 〒438 静岡県磐田市新貝2500 YAMAHA ヤマハ発動機株式会社宣伝課OS係 Tel.05383(2)ロロ